

第 162 回 物質構造科学研究所運営会議議事要旨

日 時 令和 5 年 10 月 2 日(月) 15 : 00 ~ 17 : 22

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 + ウェブ (Zoom) 併用

出席者 雨宮議長、有馬委員、五十嵐委員、伊藤委員、大竹委員、大友委員、
帯名委員、折茂委員、河村委員、木村委員、久保委員、熊井委員、栗栖委員、
解良委員、佐波委員、清水委員、下村委員、菅原委員、瀬戸委員、高橋委員、
千田委員、永井委員船守委員、三原委員、矢橋委員、山室委員、小杉所長
(機構側陪席者)
足立理事、住吉監事、五味田総務部長、幸田参事役

議 事

【 1 】 第 160 回議事要録の確認について

雨宮議長から、資料 1 の議事要録については事前に確認済みであり、確定版を配付している旨の説明があった。

【 2 】 審議

(1) 教員公募 (物構研・教授 1 名・PF)

船守委員から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。
併せて、人事委員会についても提案のとおり了承された。

(2) 特定有期雇用職員の雇用計画・公募案について (物構研・特別准教授もしくは特別助教 1 名・PF・女性)

船守委員から、資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。
併せて、人事委員会についても提案のとおり了承された。

(3) 2023 年度後期ミュオン共同利用 S 型実験課題審査結果について

下村委員から、資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(4) 2023B 期 J-PARC/MLF における大学共同利用中性子実験課題 (一般・産業利用) の審査結果について

伊藤委員から、資料 5 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(5) 2023B 期 J-PARC/MLF における大学共同利用ミュオン実験課題 (一般) の審査結果について

下村委員から、資料 6 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(6) 教員人事 (物構研 (PF)・特定人事・特別教授 1 名)

伊藤委員から、別途配信資料に基づき説明があり、特別教授 1 名の選考が行われた。

(7) 次期所長選考について

次期所長候補者の選考に係る議論が行われた。審議の結果、教育研究評議会へ本運営会議の意見として申し出る次期物質構造科学研究所長候補者が決定した。

【3】報告

(1) ミュオン共同利用実験文理融合課題の新設について

下村委員から、資料7に基づき報告があった。なお、審議という形を取った方が良い旨の意見があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

<主な意見・質疑応答等>

・良い制度だが、PF及び中性子では同様の制度を行っているのか。

→行っていない。

→文化財等の受け入れ態勢が整っていない。国立科学博物館等の他機関から実施を望む声が上がっているので制度化を検討していきたい。

(2) 2023年度後期放射光共同利用実験課題審査結果について（条件解除）

船守委員から、資料8に基づき報告があった。

(3) 協定等の締結について（資料配付のみ）

【4】研究活動報告（資料配布のみ）

1. 物質構造科学研究所報告
2. 素粒子原子核研究所報告
3. 加速器研究施設報告
4. 共通基盤研究施設報告

【5】閉会

次回以降の日程については、後日事務局より連絡する旨案内があり、閉会した。

以 上